

用語解説

一般会計とは？

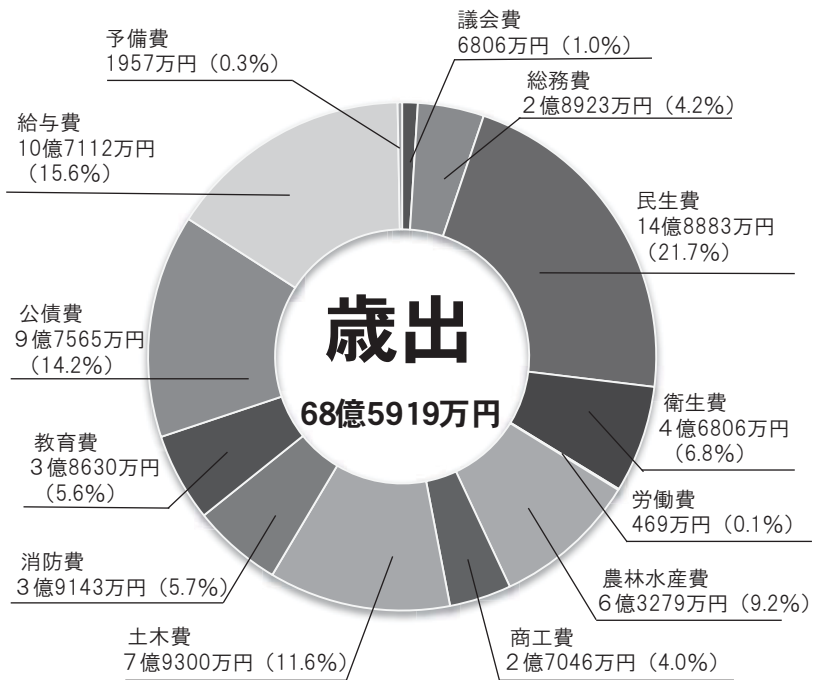
町の会計の中心となるのが一般会計です。行政運営の基本となる経費の全てを計上したもので、町行政の目的を達成するために必要な経費を経理する会計です。行政サービスのほとんどが、一般会計で賄われています。

特別会計とは？

特別会計は、町が特定の収入で特定の事業を行う場合など、一般会計と分けて経理する必要がある場合に町が条例で設置することができる会計です。洞爺湖町には、国民健康保険、公共下水道事業、介護保険、簡易水道事業、後期高齢者医療の5つの特別会計があります。

企業会計とは？

企業会計は、独立採算性を原則とする、一般的には、株式会社などの民間企業における会計をいうもので、民間企業に近い事業を行う場合に設置される会計で水道事業会計がこれに該当します。



地方債(借金)の残高

(単位：万円)

年度 会計別	平成27年度	平成28年度 (見込)	平成29年度 (見込)
一般会計	92億4690	82億5579	79億1276
公共下水道事業特別会計	36億5875	34億1221	30億9089
簡易水道事業特別会計	4億9463	4億7144	4億4552
水道事業会計	7億9123	7億9155	7億6115
合計	141億9151	129億3099	122億1032

基金(貯金)の残高

(単位：万円)

年度 会計別	平成27年度	平成28年度 (見込)	平成29年度 (見込)
財政調整基金	12億3710	12億3830	11億6950
減債基金	1億284	1億289	1億293
その他特定 目的基金	16億6163	16億469	15億2035
合計	30億157	29億4588	27億9278



※歳入不足を補てんするために使用できる基金は、財政調整基金と減債基金のみです。

歩道照明灯改修、噴水広場休憩施設整備、水道事業会計における月浦浄水場膜ろ過更新事業への補助などを計上しました。ソフト事業は、保育所保育料の軽減、幼稚園利用者に対する助成、出産祝い金、子どもインフルエンザワクチン接種費用助成、中学生までの医療費無料化、ICT教育推進モデル校事業などを計上し、子育て支援などの充実を図ります。

継続事業は、虻田漁港大磯分区分整備事業、伏見橋整備事業、高砂貝塚保存整備事業などを計上しました。また、道路・橋梁は、国庫補助金を活用して長寿命化を図り、産業振興対策は、農業へ馬鈴薯貯蔵施設等整備補助、多面的支払事業補助、漁業へ虻田漁港作業場解体補助などを行い、インフラの整備及び地場産業の支援を進めます。

観光振興策は、引き続き観光関係団体、観光事業者、町民、行政が一体となり、おもてなしの心が満ちた洞爺湖町を実現するため、各種事業及びイベント開催によるまちづくりを継続して支援を行うほか旅客誘致対策の更なる強化、洞爺湖有珠山ジオパークなどの恵まれた地域資源をいかし、たまちづくりにも積極的に取り組んでいきます。